

口は健康のもと Vol.175

インプラント義歯の種類 メリット多い取り外し式

人工歯根：インプラント体を利用した歯の回復方法には、大まかに分けて二つのタイプがあることをご存知でしょうか。

インプラントを用いた場合、患者さんご自身では取り外しをしない歯をインプラント体に取り付ける治療方法というイメージが一般に広く定着しているようです。

このような「固定性」の治療に対して、「可撤性（かてつせい）」すなわち取り外し式の入れ歯をインプラント体で支える治療方法があります。インプラントの上に入れ歯：デンチャーを載せる・・・ということで「インプラントオーバーデンチャー」とも呼ばれている装置です。

総入れ歯の方をはじめとして失った歯の本数が多い方は、「固定性」ではインプラント体の本数が増えてしまい、埋め込み処置の際のお体への負担も大きくなりがちです。「可撤性」ではそのような負担を最小限に抑えることができます。一方、インプラントの支えを利用することから、使い心地の満足度は大幅に向上します。口元の見た目の変化の回復、明確に話ができる、さらには社会行動に従事というような項目においても効果が期待できるとされています。大型の入れ歯でお困りの方向向いている治療方法と考えられています。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 関根 秀志